

○言奈地蔵

ご本尊は、石仏で弘法大師の作といわれ、その昔、権六という馬子が旅人を殺して金を奪った。そばで地蔵が見ていたので、「地蔵言うなよ」と言った。地蔵は「地蔵は言わぬが我言うな」と言われ山を下りた。

後年、この峠で若い旅人に出会い、昔を語つたことろ、その若者がかつて殺した旅人の息子であると知り、自ら進んで仇を討たれたと言う、伝説の残る不思議な地蔵尊です。



○栃ノ木峠(旧北国街道)

戦国時代までの越前への街道は山中峠を越える古道と木ノ芽峠を越える北陸道だけであったが、柴田勝家が北の庄に封じられ、岐阜、安土に赴く最短路として、天正6年（1578年）に大改修を行って以来人馬の往来は頻繁となった。

峠には樹齢500年、樹高24mのトチノキの巨木があり、県指定天然記念物に指定されている。



この巨木は板取宿から峠に向かう目印として親しまれ、峠の名もこの木にちなんで付けられたと言われています。

○山中峠(万葉道)

奈良時代、都から越の国(北陸)に入る旅人は、敦賀から山中峠(標高389m)を越えた。越前の国を通った最古の北陸官道である。万葉集にも歌われ「万葉の道」とも呼ばれている。

林道栃ノ木・山中線について

- 南越前町板取(栃ノ木峠)の国道365号線から同町山中地区を結ぶ森林基幹道
- 全長15,536m、幅員5m、全線舗装済みの1級林道
- 福井県の嶺北と嶺南の分水嶺の山なみを走り、また旧三街道をめぐる林道で、自然や歴史を堪能できます。(冬期間は通行止)

○林道のはたらき

林道は、森林を健全な状態で維持・管理し、森林からのさまざまな恩恵を継続的に私たちの生活の場に運びために不可欠な施設です。また、森林と山村・都市を結び、森林を憩いの場として提供するなど大切な役割を担っています。

○森林の地球温暖化防止機能

森林は光合成により、大気中の二酸化炭素を吸収・固定して成長します。間伐することで、木が大きく成長できるようになり、伐った木材も、エネルギー負荷の少ない環境に良い資材として使用できます。



林道からの木材積込み 林道ウォーク開催

林道を運転するための5箇条

- スピードを落として安全運転を
急勾配が多いため、スピードは控え安全運転で走ってください。
- カーブでは徐行を
カーブでは視界が悪いため徐行し対向車の確認や警笛で注意喚起を行ってください。
- 路肩の走行は禁物
道幅が狭く、草などで見通しが悪い箇所では谷側に寄らないで走ってください。
- すれ違いには待避所などを利用
対向車を発見したら、早めに待避所など広い場所で停車し、あたがい譲り合いながら走行してください。
- 落石注意！小石の落下は山崩れの前兆
落石等がある箇所では、斜面の安全確認してください。
土砂や小石がバラバラと落ちてくる場合、素早く避難してください。

マナーを守って走りましょう

山火事防止のため、たばこのポイ捨てはしないでください
ゴミは捨てないで、持ち帰ってください



木ノ芽峠周辺マップ



木ノ芽峠 (旧北陸道)

木ノ芽峠は旧北陸道の南越前町ニツ屋と敦賀市新保を結ぶ標高628mの峠で、天長6年（830年）に上毛野奥公が開いたと言われてあり、以後、1200年北陸の関門として重要な峠道になりました。

天正6年（1578年）柴田勝家が栃ノ木峠を改修し北国街道が官道に昇格した後も、敦賀を経由し京都へ向かう重要な道でした。

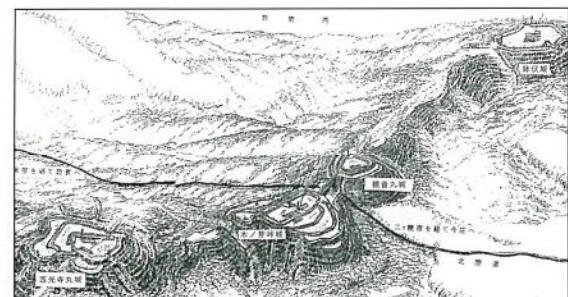
明治20年（1887年）に敦賀街道が開通し、急速に衰退しましたが、それだけに街道の面影を保つ数少ない峠の一つです。



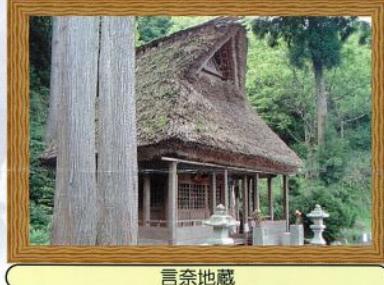
木ノ芽城砦群

木ノ芽城砦群は木ノ芽峠を押さえる目的で築城されたもので、木ノ芽峠を挟んで東の西光寺丸城、西に木ノ芽峠城、観音寺丸城、鉢伏城と屋根状に連なって位置していました。

築城は少なくとも南北朝時代と言われていますが、確認できるのは戦国期で、朝倉始末記によれば「永禄12年（1568年）、織田信長の越前侵略に備え城を構えたのが始まり」で、その後、織田方や一向一揆勢が立て籠もったと言われています。



林道 杣ノ木・山中線周辺マップ



言奈地蔵

林道 山中・大谷線



道元禅師入道蒙古の道



アマゴゼ山
(400m)

教賀街道

大谷

ホノケ山
(737m)

県道

林道 山中・大谷線

林道 栄ノ木・山中線

山中峠

JR北陸本線

今庄IC

南越前町役場

なんじょう

S 南条・スマートIC

ゆのむ

花はす温泉
そもやま

今庄365スキー場

476

今庄そば

そば道場

日野川

みなみいまじょう

今庄総合事務所

藤倉山
(644m)

いまじょう

今庄IC

JR北陸本線

今庄365スキー場

木ノ芽峠

鉢伏山
(762m)

新保

北陸トンネル

476

余呉高原リゾート

木ノ芽峠

木ノ芽峠